

**「旅行者数と小児重複感染症入院患者数との月別関連性に関する生態 学的時系列研究
— 別府医療センターにおける FilmArray 呼吸器パネルを用いた検討 —」
へご協力のお願い**

【目的】

大分県は別府・湯布院を擁する国際的観光地であり、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）水際対策の段階的緩和（2022 年）および全面解除（2023 年 3 月）以降、訪日外国人宿泊者数が急速に回復しています。国内外の旅行者増加は地域医療に対して複合的な感染症リスクをもたらす可能性があります。旅行者数と小児重複感染症との定量的な関連を検討した研究は極めて限られているのが現状です。

本研究では、旅行者数と小児重複感染症入院リスクとの定量的関連を体系的に示し、観光地型地域医療における感染症サーベイランス強化・医療資源準備計画のための科学的根拠を提供することを目的としています。

【研究の対象】

- 2021 年 10 月 ～ 2026 年 3 月の間に当院で、
- ・発熱または呼吸器症状を有し入院した患者さん
 - ・入院中に FilmArray 2.1 呼吸器パネル PCR 検査を実施した患者さん
 - ・入院時年齢が 15 歳以下の患者さん

【研究の目的・方法】

大分県内の月別旅行者数（訪日外国人・九州外国内旅行者・九州内国内旅行者の 3 群）と、別府医療センターに入院し FilmArray 2.1 呼吸器パネルで 2 項目以上陽性となった 15 歳以下の患者さんの月別入院患者数との関連性を明らかにします。

また本研究は月別集計データを用いた生態学的研究であり、個人を識別する情報は一切取り扱いません。集計に用いる診療録の参照に際して患者氏名・生年月日・住所等の個人識別情報を収集せず、月別集計数のみを記録いたします。

【研究期間】

倫理審査委員会承認日より 2027 年 3 月 31 日迄

【外部への試料・情報の提供について】

ありません。

【個人情報の取扱いについて】

本研究は「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従って実施します。個人情報の漏洩を防ぐため、臨床研究に関する氏名等の個人情報は削除し、第三者が個人情報を閲覧できないようにしております。

また、本研究の実施過程、および結果の公表（学会発表、論文発表）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれないように配慮しています。

【医学上の貢献】

- ・旅行者数（訪日外国人・国内旅行者）と小児重複感染症入院との関連を定量的に示すことができる。
- ・旅行者の出発地（遠距離 vs 近距離）によって関連強度が異なることを統計的に示し、病原体の地理的伝播距離仮説を支持するデータを提供できる。
- ・観光地を擁する地域の感染症サーベイランス・医療資源準備計画のための科学的根拠を提供できる。

【問い合わせ窓口】

本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
情報等が当該研究に用いられることにご了承頂けない場合には研究対象としませんので、下記連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者

国立病院機構 別府医療センター 小児科

氏名 古賀 寛史

連絡先：〒874-0011 別府市大字内かまど 1473 番地

電話：0977-67-1111 FAX：0977-67-5766